

幼稚園だより

2月号

令和5年 1月30日

荒川区立花の木幼稚園

園長 岩崎 昇

【私の子ども観】



子どもはダイヤモンド

心の鬼を退治しよう

園長 岩崎 昇

1月も下旬になってから一段と寒い日が続くようになりました。コロナだけではなく、インフルエンザにも十分気をつけていきたいと思います。

さて、2月3日は節分です。その日は、各地で節分の催しが行われますが、幼稚園でも子ども会として豆まきを実施する予定です。「福は内、鬼は外」の元気なかけ声が聞こえることでしょう。ご家庭でも豆まきをされる方もいらっしゃると思います。ところで、鬼とは何でしょうか？人間からすると恐ろしいもの、悪いものの代名詞と言われる空想の生き物です。明らかに空想であるのに、現代にも歴然とその存在感があるのはなぜでしょうか。それは、私たちの生活の中に、鬼が存在するからではないでしょうか。様々な考えがあらうかと思いますが、私は自身の心の中にある弱い心や貧しい心等が、鬼なのではないかと思います。「福は内、鬼は外」のかけ声は、だれかに言っているのではなく、自身の心の内に言っているのではないのでしょうか。

寒い日が続きますが、心の鬼に打ち勝てるよう、子どもたちを励まし続けていきたいと思っています。

今月の保育のねらい



《3歳児：ひよこ組》

- ・一緒に遊ぶ中で自分の思いを伝えたり、相手の気持ちに気づいたりしていく。
- ・友達や教師と一緒に表現遊びを楽しむ。

《4歳児：こあら組》

- ・興味のあることにじっくり取り組むことを通して、自信や意欲を育む。
- ・表現活動を通して、自分なりの表現をしたり、友達と一緒に動いたりすることを楽しむ。

《5歳児：いるか組》

- ・互いの良さを認め合いながら、意欲的に遊びや生活を進める。
- ・繰り返したり、試したりしながら、自分なりの課題に取り組もうとする。